

What's on, Kyodokodo

2010.5.24
No.23



- 成功事例・参考事例を募集しています→<http://kyodokodo.jp/> トピックス内
- 質問・提案をお寄せください→advice@ppscamp.net
- 標準化病院死亡比(HSMR)を算出してお知らせします
→<http://kyodokodo.jp/hsmr.html> お問い合わせは toHSMR@ppscamp.net
- 参加登録病院用のバナーができました! → [パートナーズ専用ページ/トップページ](#)
- 参加登録方法に関するQ&A → <http://kyodokodo.jp/faq.html>
参加登録事項変更等に関するQ&A → [パートナーズ専用ページ/Q&A](#)

CONTENTS

共同行動からのお知らせ

- 共同行動のこれから
- 2周年記念フォーラムが開催されました
- 2周年記念フォーラム「ライブ中継レポート」
- 日本看護協会より「患者図書室の紹介」パネル無料貸し出し

支援ツールをアップしました

- 目標6「急変時の迅速対応」

フォーラム・セミナー等のご案内

Q&Aをアップしました

- 目標4「医療関連感染症の防止」

病院の活動紹介

- 亀田総合病院の活動(医療機器の安全教育)

フォーラム・セミナー等のご報告

- 実技講習会「経鼻栄養チューブの挿入留置手技」

応援メッセージ

- 歌手のアグネス・チャンさんより

フォーラム・セミナー等のスケジュール

- 6月6日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門②
- 6月18日(金) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター宮崎講習会
- 7月10日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター富山講習会
- 7月11日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門③
- 8月1日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門④
- 9月11日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター姫路講習会
- 9月26日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門⑤
- 10月16日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター旭川講習会
- 10月30日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター東京講習会

共同行動からのお知らせ

共同行動のこれから

2周年記念フォーラムにおいて、高久史磨氏(共同行動推進会議議長)から「共同行動のこれまでとこれから」と題して共同行動の中間評価と今後の方針について基調講演があり、医療安全の実現をめざして共同行動を継続しようとの呼びかけがなされました。中間評価のための調査で、一般病床・75歳未満の入院中の死亡率が低下したこと、参加登録病院の96%が共同行動の継続を望んでいることがわかりました。また、2年間のキャンペーンで共同行動の趣旨と目標がよく浸透してきたところで、目標を達成するためにさらに多くの病院に参加を呼びかけ、医療安全をめざす共同行動の一層の発展を期待する旨のお話がありました。提案の骨子は以下の通りです。



- ◇医療安全全国共同行動を継続し、5月以降も参加登録を受付ける
 - ◇5月末までの参加登録病院(1期登録病院)は、取り組みの成果を11月までに報告する
 - ◇評価をふまえて次期の計画を策定し11月フォーラム(11月26日・27日幕張メッセ)で公表する
- * 詳細は http://partners.kyodokodo.jp/2010may15/document/May15_kyodokodo.pdf

2周年記念フォーラムが開催されました

5月15日(日)、ベルサール九段(東京)において医療安全全国共同行動2周年記念フォーラムが開催されました。400人を超える会場参加者とインターネット中継視聴者が集う中、医療安全の重要性と安全対策の基本を再確認し、目標の実現をめざして共同行動の一層の発展を約しました。

原中勝征日本医師会会長、渡邊真俊厚労省医療安全推進室長のご挨拶、足立信也氏(厚生労働大臣政務官)、福田衣里子氏(衆議院議員/共同行動評価委員)のメッセージ紹介のあと、岩手県、沖縄県、東京都、鹿児島県で開催された共同行動地域フォーラムの報告がなされました。

この後、高久史磨推進会議議長の基調講演、これに続いて野本亀久雄氏(日本医療機能評価機構理事)と河野龍太郎氏(自治医科大学医療安全学教授)の講演、沖縄県立中部病院と夕張医療センターからLIVE中継で活動事例の紹介などをいただきました。

各講演内容は <http://partners.kyodokodo.jp/2010may15/program.html> からご覧ください。

また、大竹しのぶさん、アグネス・チャンさん、川江美奈子さん、ジュスカの各氏から届いた、医療安全に取り組む病院と医療従事者を応援するビデオメッセージが紹介されました。

休憩をはさんで、後半は3つの会場に分かれてテーマ別ワークショップを行いました。

A. 中小規模病院の医療安全対策

B. 有害事象(事故・合併症)が発生した時の緊急処置 — その時あなたは患者さんを守れますか?

C. 患者さんは医療安全のパートナー — 患者さんにできる安全対策

* 報告は <http://partners.kyodokodo.jp/2010may15/program.html> からご覧ください。

(ワークショップAは5/28以降、B・Cは5/27アップの予定です)

なお、当日いただきました祝辞も併せて上記HPからご紹介いたします。

今回初めてインターネットを使ったLIVE中継とテレビ電話を介して沖縄・北海道からのレポートをいただきました。映像は予想以上に明瞭で、遠く離れた地からでも参加できるインターネット中継の有用性が確認できました。

2周年記念フォーラム「ライブ中継レポート」

初めての試みとして、5月15日(土)ベルサール九段(東京)で開催されました医療安全全国共同行動2周年記念フォーラムをインターネットでライブ中継いたしました。

13時開始のシンポジウムからワークショップAまで、連続で約4時間、停止することなくニコニコ動画とUSTREAMでイベント会場でのフォーラムの様子を配信できました。

途中、これに加えてスカイプを使ったテレビ電話参加で、沖縄県立中部病院院長の平安山英盛先生と副院長の上原元先生、夕張希望の杜夕張医療センター長の



村上智彦先生に、それぞれ取り組みの紹介をしていただきました。またワークショップAでは、電子メールでの質問コーナーも設けました。

ニコニコ動画やUSTREAMでは、高画質での視聴ができませんので、発表スライドが見にくいのではないかと思います、発表者の方々のご協力を得て、フォーラム専用ページに番組表を載せ、事前に準備できたいくつかのスライドを閲覧できるように工夫しました。延べアクセス数は、ニコニコ動画は562、USTREAMは363でした。今回はトライアルなため積極的な広報をしませんでしたが、医療分野でのインターネットを使ったライブ配信はまだ珍しいようで、中継の様子がNHKの「おはよう日本」で紹介されました。

インターネットを使ったライブ配信は、一昔前であれば専門業者に頼んで数百万円もかかることでしたが、今回は臨床衛生検査技師会の方々がボランティアでご尽力くださったおかげで、比較的安い費用で実現することができました。ネット中継を担当した支援チームのメンバーは北海道・東京・愛知・石川・大阪・島根・沖縄の7名。3月からメールリストを使って準備を進め、前日に東京会場の担当4人が持ち寄った機材の接続テストをするまで、なんと一度も顔を合わせての打合せはなかったそうです。当日はビデオカメラ2台とPC4台の画面と音声を切り替えてのネット中継でした。沖縄県立中部病院の医療情報の先生方のご協力も得て、無事終了できました。本当にどうもありがとうございました。

◆ご意見・ご要望を共同行動事務局までお寄せください。 shienjimu@kyodokodko.jp

文責 山崎美智子(2周年記念フォーラム・ネット支援チーム代表)

日本看護協会より「患者図書室の紹介」のパネルを無料で貸し出します

日本看護協会より、医療安全推進週間企画展で展示された「患者図書室の紹介」のパネルを、希望する病院や団体に無料で貸し出していただけることになりました。地域フォーラムやセミナー、学術集会、院内研修会等で広くご活用ください。

パネルの運送経費は使用者にご負担いただきます(往復で2500円～3000円程度)。

お申し込み:日本看護協会事業開発部医療安全担当

anzen@nurse.or.jp TEL.03-5778-8549



鹿児島フォーラム2010.4.24)でのパネル展示風景
(「患者図書室の紹介」は手前の4枚)

※設置用品は貸し出しに含まれません

支援ツールをアップしました

目標6 「急変時の迅速対応」の支援ツールをアップしました

- 推奨対策①—緊急処置マニュアル:「アナフィラキシーショック」「術後肺塞栓症」「空気塞栓」「採血時の神経損傷」「採血時の失神」
- 推奨対策④—早期発見・早期対応を可能にするRRSの態勢作りのガイド(米国100KのRRSスターターキット)

* [公開ページ/トップページ/「8つの行動目標と推奨する対策」](#) → [「支援ツール一覧/行動目標6/TOOL BOX」](#) →登録してお入りください

フォーラム・セミナー等のご案内

8目標に関連するセミナー、シンポジウム、講習会

医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門(目標7に関連)

定員に達したため、募集を締め切りました

日程: 6/6日(日)、7/11(日)、8/1(日)、9/26(日) 全5回

会場: 自治医科大学付属病院 地域医療情報研修センター

* 詳細は http://kyodokodo.jp/event_list.html

弾性ストッキング・コンダクター講習会(目標2に関連)

〈宮崎地区〉

日時: 6月18日(金) 13:30~17:00

会場: フェニックス・シーガイア・リゾート内、ワールドコンベンションセンターサミット

〈富山地区〉

日時: 7月10日(土) 13:00~16:00 (予定)

会場: 上市町文化研修センター(予定)

〈姫路地区〉

日時: 9月11日(土) 13:00~17:00

会場: 姫路商工会議所

〈旭川地区〉

日時: 10月16日(土) 午前中

会場: 旭川文化会館(予定)

〈東京地区〉

日時: 10月30日(土) 13:00~17:00

会場: 杏林大学 大学院講堂

主催 日本静脈学会弾性ストッキング養成委員会

* 各講習会の詳細は <http://www.js-phlebology.org/japanese/sscc/index.html>

Q&Aをアップしました

目標4 「医療関連感染症の防止」について質問と回答をアップします(5/27予定)

Q. 施設を清潔に保つためにはどうしたらよいでしょうか?

Q. バイアルびんの消毒(穿刺部位)に関して、アルコール綿の消毒ではだめだという医師がいるため、その時だけイソジン消毒にするなど、標準化できずに困っています。

Q. 手指衛生PPEの対策は重要なので、バンドル化やアルコールの設置等、整備を整えましたが、"SP"が十分に理解されていないためか、感染対策が十分に実施できていません。

Q. 医療関連感染症の防止のためのスタッフの行動が統一されていません。ポスターにしてNsステーション内に貼り出していますが、あまり効果がありません。

Q. 大学病院です。新型インフルエンザワクチンの配布に関して、10mlの規格のものが優先的に配布されてきますが、18人の倍数で患者を集めることに苦慮しています。無駄をなくすためにいろいろ工夫(薬剤部で0.5mlずつ(18人分)シリンジに小分けし、入院患者に使用し、当日残った分は外来患者に使っています)していますが、どうしても1日に2~3人分は余って破棄しており、もったいないと思います。何かいい方法はありますか?

* 回答は、[公開ページ/トップページ/メニュー](#) → [相談室](#) → [Q&A](#) からご覧ください。

病院の活動紹介

亀田総合病院の活動紹介

医療機器の安全な操作と管理へ組織的・体系的に取り組む

亀田総合病院 ME室 鈴木 茂樹

当院は、看護学科（正看護師養成、修業3年、80人×3学年＝240人）、助産学科（助産師養成、修業1年、20人）の付属看護専門学校（亀田医療技術専門学校）を有している。看護学校の実習先は、「最新のテクノロジー」と「患者第一主義」をポリシーに掲げ医療への取り組みを行っている診療科31科、病床数1000床の亀田メディカルセンターである。付属看護学校からの資格取得後の就職率は90%である。看護学校のME機器の講義・実習は2年生の臨床実習中に行っている。講義・実習のポイントは以下である。

- ・学生の大半が就職する病院で使用している医療機器を用いた実習と説明（人工呼吸器、輸液ポンプ、シリンジポンプ、SPO2モニタなど）
- ・実際に病院で起きたME機器のトラブルに対応している臨床工学技士が説明
- ・人工呼吸器実習では実際にマスクにて人工換気の体験と設定（強制換気、PSV、PEEP、トリガーなどを体験し、効果や注意事項を学ぶ）
- ・人工呼吸器を安全に使用するための併用機器の説明（SPO2モニタ、ETCO2モニタ、加温加湿器など）
- ・酸素解離曲線の説明（SPO2・ETCO2モニタを使いこなすための）
- ・重要なアラームの原因と対策を理解（人工呼吸器の過剰圧、低吸気圧、低1回換気量や輸液ポンプの気泡混入、閉塞圧など）
- ・過去の医療事故などを含め安全性を説明（医療ガス誤吸入・誤接続、高気圧酸素装置の爆発）
- ・患者の生命、医療従事者の生命を脅かす内容を理解（除細動器の通電時の厳禁事項、高気圧酸素治療における厳禁事項、ペースメーカーにおける厳禁事項、加温加湿器と人工鼻の併用厳禁など）

医療機器のプロフェッショナルである臨床工学技士が、現状と問題点、過去の事例、医療事故を踏まえ説明することには意義があり、人工呼吸器、輸液ポンプなどの機器の基本を理解することは重要である。しかし、この知識だけで取扱いができることにはならない。機種ごとの取扱い説明が必要と考える。高度な医療提供と医療事故は隣り合わせであることを学生時より認識を持つようにすることは大変重要であり、有益であると考えている。インシデント、アクシデント、ヒヤリハットは、報告する習慣を根付かせる時期から報告内容の調査、対策、対策効果の検証をし、いかに対策効果が得られるかを求められるところまで医療従事者の意識が向上してきている。

亀田メディカルセンターでは、組織的、体系的な一貫した卒後教育システムにより、経験の浅い医師、看護師、技師が1日も早くプロフェッショナルとなるようフォローしている。卒後教育は医療機器の取扱い説明、安全講義を含めた内容であり、医療安全教育講演を職員全員が必須で受講しなければならない。シュミレーションセンターは、24時間利用可能で、気軽に臨床で実際に使用している機器を取り扱うことが可能である。

また、リスクマネージャの養成も積極的に行い、部署には複数のリスクマネージャが存在し、リスクマネージャを中心に安全対策委員会を開催し活動していることが職員全体の意識向上に繋がっていると考える。これは、身近に起きているインシデント、アクシデント、ヒヤリハット報告の共通認識をし、同職種間で起きているインシデントなどに、安全対策を立て運用することが身近な活動となっている。これまで、上司が安全対策を打ち立て、各スタッフに徹底する一方的な打ち出しであったが、現在は、スタッフによる医療安全対策に対してPDCAサイクルが確立しつつある。しかし、ME機器に関するインシデントは絶えず報告がある。内容は機器の取扱いに関する知識不足によるもの、経験不足が原因である。このような環境の中で、ME室では、看護教育の支援として新人看護師、指導看護師の教育から看護学生に対する医療機器の講義、実習を行っている。

フォーラム・セミナー等のご報告

実技講習会「経鼻栄養チューブの挿入留置手技」のご報告

平成22年5月15日(土)、東京のベルサール九段、会議室にて、「実技講習会“経鼻栄養チューブの挿入留置手技”～安全な経鼻栄養チューブの挿入を目指して——人・物・技術」を開催しました。

当日の参加者は当初の予定を超えて計66名、医師、看護師、薬剤師、看護教員、レントゲン技師の方々が受講されました。

参加者によるアンケートでは、回答者全員が講義について「よく理解できた・理解できた」、今後の活用について「とても活用できる・活用できる」とされ、次のような感想をいただきました。

- ・技術演習でレントゲン撮影を見ることができてよかった。
- ・レントゲン撮影だけでなく、画像を読み取ることが必要であることが、具体的な事例紹介によってよく理解できた。
- ・チューブ挿入前の患者アセスメントの必要性がよく理解できた。
- ・チューブ挿入には技術が必要であることがよくわかった。
- ・チューブ挿入20cmの確認方法を初めて知った。
- ・チューブの固定テープにも種類があり、管理上大切なことがわかった。
- ・PHチェックを体験できてよかった。実際に使ってみたい。

終了後、教材DVD「経鼻栄養チューブの挿入と管理」をぜひ活用して院内教育をおこないたい、学生の技術教育に使いたいといった声も聞かれ、行動目標3a「危険手技の安全な実施—経鼻栄養チューブ挿入時の位置確認の徹底」に対する参加者の方々の意識がより高まったことを実感しました。

文責 山元恵子(目標3a支援チーム代表/春日部市立病院)

応援メッセージ

歌手のアグネス・チャンさんから応援メッセージが届きました

医療現場における事故やミスをできるだけなくそうという活動が日本でも始まったという、とてもよいニュースをうかがいました。いろいろな立場の方が力を出し合って、一人でも多くの人を医療事故から救おうという取り組みは本当に素晴らしいことです。

私も2007年に乳がんの手術を経験し、今も闘病中です。

…つづきを読む http://kyodokodo.jp/message_8.php

共同行動キャンペーンポスターをご利用ください (HPからダウンロードできます)

- 医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”(日本版100K)
- 行動目標別キャンペーンポスター完成見本(目標1～目標8)
 - 公開ページ…[トップページ](#)
 - パートナーズ専用ページ…[トップページ](#)
- 行動目標別キャンペーンポスター基本デザイン(目標1～目標8)
 - パートナーズ専用ページ…[トップページ](#)

★ウェブマガジンWhat's on, Kyodokodoは5月より第1・第3金曜日に配信します
院内にて掲示・回覧・配布等、ご活用ください

医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”
ウェブマガジン What's on, Kyodokodo 編集室
E-mail: secretariat@kyodokodo.jp URL: <http://kyodokodo.jp/>